



発行 群馬育英学園  
学校法人 広報委員会

ご挨拶

群馬育英学園

理事長 中村義寛



2026年(令和8年)の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

学校法人群馬育英学園は、1963年(昭和38年)に開校した前橋育英高等学校、今年で開学9年目を迎える育英大学、そして1970年に前橋保育専門学校とし

て開校し、その後改組して保育学科と現代コミュニケーションシオン学科で構成される育英短期大学の3校を設置しております。さらに、

系列学園として学校法人群馬英数学館、育英メデイカル専門学校(鍼灸学科・柔道整復学科)、学校法人中村学園(幼保連携型認定こども園大利根育英幼稚園・朝日が丘こども園)があります。

育英大学は4月より教育学部の定員をこれまでの150名(児童教育専攻50名、スポーツ教育専攻100名)から、児童教育専攻50名、

スポーツ教育専攻130名、新設の英語教育専攻20名の合計200名へと増員いたします。

このたびの前橋育英高等学校男子・女子サッカー部の全国大会出場支援および応援支援の募金に際しましては、学園協力会・協力企業・高校後援会・保護者会・同窓会・退職者の会・学園教職員ほか、多くの皆様よりご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

第104回全国高校サッカー選手権では、初戦となる2回戦で神戸弘陵学園に1-2で惜敗しましたが、選手・スタッフともに連覇への期待という大きなプレッシャーの中、本当によく健闘してくれました。また、第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会では、初戦の高知高校戦が1-1からPK戦にもつれ込み、6-5で敗退いたしま

した。男子・女子ともに、2年生はこの悔しさを糧とし、来年こそ男女そろって全国制覇を目指して努力してくれるものと期待しております。

また、報道にもありましたように、前橋育英高校男子サッカー部の山田耕介監督が2月1日付でJ3・J2リーグのゼネラルマネージャーに就任いたします。8月までは前橋育英高校サッカー部の指揮を執り、9月以降は総監督としてチームに関わってまいります。

育英大学、育英短期大学、前橋育英高等学校とともに、今後ますます厳しさを増す少子化社会の中にあつて、一層の改革と進化を遂げ、地域社会および全国から評価される学園を目指して邁進する所存です。今後とも、関係各位の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

役員・評議員

- 理事長・学園長 中村 義寛
- 理事(大学・短大) 石井 諭
- 理事(高校) 二渡 論
- 理事(法人本部長) 佐伯 詔一
- 理事(高校相談役) 岩川 正典
- 理事 福島 英人
- 理事 奈良 知彦
- 監事 富岡 政明
- 監事 反町 敦
- 評議員(大学・短大副学長) 柳川 美磨
- 評議員(高校副校長) 中西 信之
- 評議員(総合企画部長) 高月 広喜
- 評議員 新井 信雄
- 評議員 根岸美智代
- 評議員 関根 映一
- 評議員 北條 哲成
- 評議員 石井 晃英
- 評議員 北原 崇夫
- 評議員 前田 宏

法人本部

- 総務部 部長 山本 健太
- 総務部 財務課長兼総合企画部次長 川端 誠

大学・短期大学

- 児童教育専攻長・教授(大学) 吉井 健人
- スポーツ教育専攻長・教授(大学) 滝沢 和彦
- 保育学科長・教授(短大) 内田 基美
- 現代コミュニケーション学科長・准教授(短大) 大島 宗哲
- 学生支援部長・教授(大学) 星野真由美
- 教務部長・准教授(大学) 根本 想
- 教務部長・教授(短大) 大佐古紀雄
- 図書館長兼教育研究所長 教授(大学) 三浦 哲也
- 事務局長 戸澤 勲
- 管理課長兼入試広報課長 加藤 健太郎
- 教務課長 桂 真一
- 学生支援課長 茂木 郁夫
- キャリアサポート課長 中澤 朋弘
- 入試広報課長補佐 野村 幸史

高等学校

- 教頭 上原 敏広
- 事務長 平澤 精人
- 事務次長 中井 俊二

# 令和6年度 決算報告

学校法人 群馬育英学園

学園の令和6年度決算は、本年度5月23日(金)に開催された理事会において承認可決され、6月6日(金)に開催された評議員会において了承されました。令和6年度決算は下記のとおりです。

## 事業活動収支計算書

令和6年4月1日より  
令和7年3月31日まで

教育活動収支 事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
学生生徒等納付金	1,691,020,000	1,673,740,600	17,279,400
手数料	51,642,000	53,635,700	▲1,993,700
寄付金	62,783,000	59,287,542	3,495,458
経常費等補助金	739,334,000	715,800,495	23,533,505
付随事業収入	88,376,000	112,804,650	▲24,428,650
雑収入	107,708,000	127,882,184	▲20,174,184
<b>教育活動収入計</b>	<b>2,740,863,000</b>	<b>2,743,151,171</b>	<b>▲2,288,171</b>

教育活動収支 事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
人件費	1,764,693,000	1,766,756,321	▲2,063,321
教育研究経費	804,292,000	879,920,762	▲75,628,762
管理経費	275,814,000	310,573,623	▲34,759,623
徴収不能額等	0	0	0
<b>教育活動支出計</b>	<b>2,844,799,000</b>	<b>2,957,250,706</b>	<b>▲112,451,706</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>▲103,936,000</b>	<b>▲214,099,535</b>	<b>110,163,535</b>

教育活動外収支 事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
受取利息・配当金	87,000	451,170	▲364,170
<b>教育活動外収入計</b>	<b>87,000</b>	<b>451,170</b>	<b>▲364,170</b>

教育活動外収支 事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
借入金等利息	2,323,000	3,305,987	▲982,987
教育活動外支出計	2,323,000	3,305,987	▲982,987
教育活動外収支差額	▲2,236,000	▲2,854,817	618,817
経常収支差額	▲106,172,000	▲216,954,352	110,782,352

特別収支 事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
資産売却収入	0	0	0
その他の特別収入	13,500,000	22,738,303	▲9,238,303
<b>特別収入計</b>	<b>13,500,000</b>	<b>22,738,303</b>	<b>▲9,238,303</b>

特別収支 事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
資産処分差額	0	3,130,636	▲3,130,636
その他の特別支出	0	734,802	▲734,802
特別支出計	0	3,865,438	▲3,865,438
<b>特別収支差額</b>	<b>13,500,000</b>	<b>18,872,865</b>	<b>▲5,372,865</b>

科目	予算	決算	差異(▲)
[予備費]	10,000,000		18,000,000
基本金組入前当年度収支差額	▲102,672,000	▲198,081,487	95,409,487
基本金組入額合計	▲64,730,000	▲155,033,607	90,303,607
当年度収支差額	▲167,402,000	▲353,115,094	185,713,094
前年度繰越収支差額	▲4,748,848,508	▲4,749,607,890	759,382
翌年度繰越収支差額	▲4,916,250,508	▲5,102,722,984	186,472,476

(参考)

事業活動収入計	2,754,450,000	2,766,340,644	▲11,890,644
事業活動支出計	2,857,122,000	2,964,422,131	▲107,300,131

## 資金収支計算書

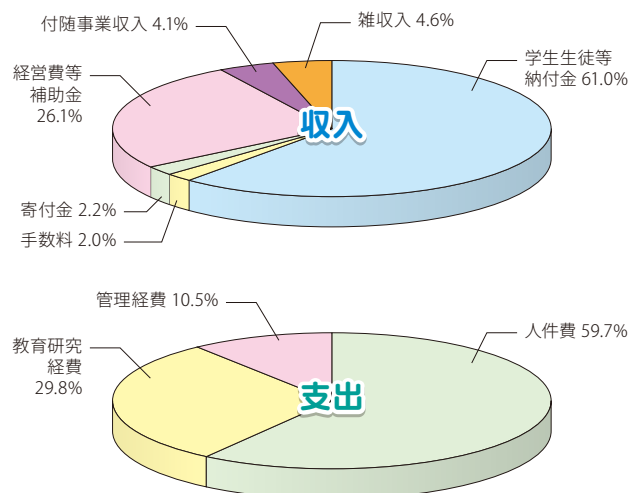
令和6年4月1日より  
令和7年3月31日まで

(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
学生生徒等納付金収入	1,691,020,000	1,673,740,600	17,279,400
手数料収入	51,642,000	53,635,700	▲1,993,700
寄付金収入	76,283,000	76,622,772	▲339,772
補助金収入	739,334,000	715,800,495	23,533,505
資産売却収入	0	200,000	▲200,000
付随事業・収益事業収入	88,376,000	112,804,650	▲24,428,650
受取利息・配当金収入	87,000	451,170	▲364,170
雑収入	107,708,000	127,882,188	▲20,174,188
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	134,200,000	130,503,740	3,696,260
その他の収入	1,178,596,000	1,435,137,252	▲256,541,252
資金収入調整勘定	▲217,454,000	▲181,283,976	▲36,170,024
前年度繰越支払資金	1,433,458,390	1,433,458,390	0
<b>収入の部合計</b>	<b>5,283,250,390</b>	<b>5,578,952,981</b>	<b>▲295,702,591</b>

支出の部			
科目	予算	決算	差異(▲)
人件費支出	1,800,152,000	1,810,689,648	▲10,537,648
教育研究経費支出	553,845,000	616,294,653	▲62,449,653
管理経費支出	246,459,000	280,272,722	▲33,813,722
借入金等利息支出	2,323,000	3,305,987	▲982,987
借入金等返済支出	38,786,000	38,786,000	0
施設関係支出	19,800,000	50,253,300	▲30,453,300
設備関係支出	44,930,000	43,476,591	1,453,409
資産運用支出	0	13,688,000	▲13,688,000
その他の支出	1,308,148,000	1,435,450,459	▲127,302,459
予備費	10,000,000		10,000,000
資金支出調整勘定	▲75,134,000	▲30,128,601	▲45,005,399
翌年度繰越支払資金	1,333,941,390	1,316,864,222	17,077,168
<b>支出の部合計</b>	<b>5,283,250,390</b>	<b>5,578,952,981</b>	<b>▲295,702,591</b>

## 令和6年度 事業活動収支構成比率



### 貸借対照表

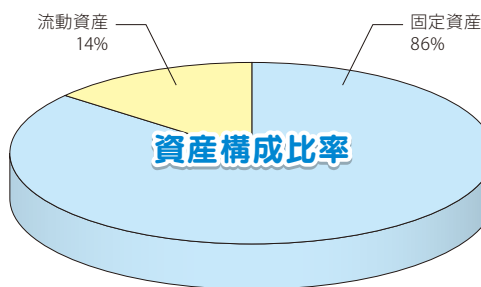
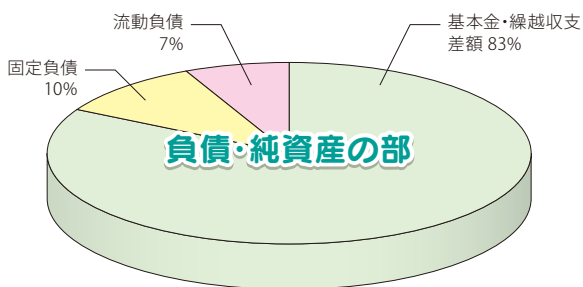
令和7年3月31日現在

(単位:円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定負債	955,123,156	1,119,484,669	▲164,361,513
長期借入金	529,357,000	568,143,000	▲38,786,000
退職給与引当金	72,787,533	116,720,860	▲43,933,327
長期未払金	352,978,623	434,620,809	▲81,642,186
流動負債	722,299,344	690,232,190	32,067,154
短期借入金	38,786,000	38,786,000	0
未払金	92,195,481	65,251,377	26,944,104
前受金	130,797,640	136,644,900	▲5,847,260
預り金	460,520,223	449,549,913	10,970,310
<b>負債の部合計</b>	<b>1,677,422,500</b>	<b>1,809,716,859</b>	<b>▲132,294,359</b>
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
基本金	13,108,657,033	12,955,618,564	153,038,469
第1号基本金	12,922,657,033	12,769,618,564	153,038,469
第4号基本金	186,000,000	186,000,000	0
繰越収支差額	▲4,749,607,890	▲4,604,709,124	▲144,898,766
翌年度繰越収支差額	▲5,102,722,984	▲4,749,607,890	▲353,115,094
<b>純資産の部合計</b>	<b>8,005,934,049</b>	<b>8,206,010,674</b>	<b>▲200,076,625</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>9,683,356,549</b>	<b>10,015,727,533</b>	<b>▲332,370,984</b>

収入の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定資産	8,294,347,832	8,527,401,167	▲233,053,335
有形固定資産	8,144,469,374	8,344,980,250	▲200,510,876
土地	3,164,775,395	3,165,027,015	▲251,620
建物	4,081,699,413	4,224,348,216	▲142,648,803
構築物	299,614,874	324,396,109	▲24,781,235
教育研究用機器備品	250,209,047	272,850,448	▲22,641,401
管理用機器備品	29,569,083	34,869,685	▲5,300,602
図書	256,875,052	255,335,496	1,539,556
車輛	61,726,510	68,153,281	▲6,426,771
特定資産	73,037,844	116,971,171	▲43,933,327
退職給与引当特定預金	72,787,533	116,720,860	▲43,933,327
クラブ活動特定預金	250,311	250,311	0
その他の固定資産	76,840,614	65,449,746	11,390,868
権利金	6,000,000	3,000,000	3,000,000
電話加入権	1,963,507	1,963,507	0
保険積立金	46,700,220	38,375,889	8,324,331
出資金	50,000	50,000	0
敷金・保証金	449,287	402,000	47,287
貸付金	21,200,000	21,200,000	0
その他預託金	477,600	458,350	19,250
流動資産	1,389,008,717	1,488,326,366	▲99,317,649
現金預金	1,316,864,222	1,433,458,390	▲116,594,168
未収入金	52,751,108	36,810,871	15,940,237
有価証券	0	0	0
前払金	13,254,802	14,614,719	▲1,359,917
仮払金	6,138,585	3,442,386	2,696,199
<b>資産の部合計</b>	<b>9,683,356,549</b>	<b>10,015,727,533</b>	<b>▲332,370,984</b>

### 令和6年度 貸借対照表



# 育英大学 育英短期大学 だより

## 学生数

大学 教育学部	577人
短期大学	
保育学科	298人
現代コミュニケーション学科	115人

## 冬の時代を乗り越えて



育英大学・育英短期大学  
学 長 石井 學

新春を迎えお慶び申し上げます。一昨年のバリオリンピックに続き、昨年度レスリング部は世界選手権で元木咲良選手、卒業生の石井亜海、U23世界選手権で五味虹登選手が優勝と輝かしい成績を残しました。特に元木選手はゴールデングラウンドスラム(世界で3人目)に輝きました。

就職面では、大学就職情報誌ユニヴプレス11月号の有名企業400社就職率ランキングによると、育英大学は148位にランクづけられています。ちなみに県内大学では、群馬大学74位、前橋工科大学116位、高崎経済大学133位で創立8年目の育英大学としては、十分な成果をあげています。

教員採用試験も年々合格者を増し、児童教育専攻の教員の努力が実つて来ていると思います。

しかし、一方で18歳人口の減少は、大学、短期大学を取り巻く環境を厳しくしています。2040年の18歳人口は、739,000人で、大学進学者数は460,000人とされています。2021年の大学入学者数は627,000人で167,000人の減と推定され、73%の規模となります。これは国公私立の平均的な減り方であり、国立大学に2021年と同数の131,000人が入学すると、私立大学入学者数は328,000人となり34%の減少となります。

私立短期大学は、現在770校で令和7年度より学生募集を中止する短期大学は23校、令和8年以降募集中止予定の短大は50校以上となっています。地域を支えるエッセンシャルワーカーの人材育成を含めて、地域社会に対す

る大打撃となります。以上、大学、短大を取り巻く状況について述べましたが、育英大学は前に向かつて進むべく教育学部に英語教育専攻(入学定員20名)を新設します。目的は国際的な感覚と英語をコミュニケーションとして使える力をも身につけて、グローバル社会で活躍できる人材の養成です。

その他にスポーツ教育専攻は実績から入学定員を30名増員し完成年度の収容定員は教育学部として800名となります。厳しい状況下ですが定員確保に向けて努力いたします。

育英短期大学は保育学科に認定絵本士養成講座を開設しており、絵本の育短として特色を出します。その他ピアノレッスン等の実技教育の充実を計りたいと思います。

現代コミュニケーション学科は、幅広い知識、教養を身につけ実社会で役立つコミュニケーション能力を磨くことを目的として、現代社会が求めている人材の養成を目指します。

大学冬の時代を乗り越えて春を迎えるべく今後一層の努力をいたします。

## 短期大学学科だより



保育学科長  
内田基美

### あばれんぼうに学ぶ

新年あけましておめでとうございます。皆様  
の保育学科へのご理解とご協力に対し、厚く御  
礼申し上げます。今年度も何卒、指導のほど、  
よろしくお願いいたします。

短期大学保育学科は、即戦力として地域に  
必要とされる保育者を養成し続けてまいりま  
した。今後も引き続き、即戦力としての様々な  
技術を身につけた学生を育てていきたいと考  
えております。新年度に向けては、昨年度以上  
に学生が参加できる様々な活動を通してコミ  
ニケーション力を育て、経験値をあげて一人一  
人

の自信に繋げていくことに力を注いでいきたい  
と考え、計画を立てているところです。

さて、今から25年前に、短期大学保育学科の  
1年生だった2名の学生が仲間を募り教職員を  
説得し、通称「あばれんぼう太鼓」を作り、たく  
さんの演奏をしてきました。昨年12月の25周  
年記念演奏会は、現役学生と現在も定期的  
に演奏を続けている卒業生の共演となり、観客  
として聞いていた60名の「あばれんぼう太鼓」卒  
業生も、うちわ太鼓を叩きながら客席から舞  
台に上り、継承されてきた曲を総勢80人で演奏  
しました。体に染み付いたリズムとテンポとタイ  
ミングは、生きる地盤も時間も空間も年代も超  
えて一瞬で一つの音楽となり、大変感動しまし  
た。終演後「同僚でもなく友人でも家族でもな  
い仲間のすばらしさ、音楽の喜び、一つのことを  
続けることの尊さ」と話さ、あばれんぼう太鼓の  
卒業生達のように、人とのつながりを大切にし  
ながら何かに打ち込み、自己を表現することが  
できる学生を育てる為に、保育学科教員一同で  
尽力して参りたいと存じます。



現代コミュニケーション学科長  
大島宗哲

### 一人ひとりの未来を支える学びへ

新年あけましておめでとうございます。日  
頃よりご支援頂き誠にありがとうございます。

現代コミュニケーション学科では2026年  
度より新たに「ファッションビジネスコース」、  
「セルフデザインコース」の2つのコースを開設  
します。ファッションビジネスコースでは、ファッ  
ションを切り口に、ビジネスの基礎から実践的  
な知識までを体系的に学びます。セルフデザ

インコースでは、学生一人ひとりの興味・関心  
に応じて、本学のカリキュラムを柔軟に組み合  
わせ、自らの学びを主体的に設計することが  
できます。

今、1年生は自分の興味・関心がある科目  
を学び、3月から本格的に始まる就職活動に  
向けて将来の進路を考えています。2年生  
は自分の進路を決め、将来のキャリアプラン  
を考えながら今後必要となるコミュニケーション  
能力の向上を図っています。

少子化、さらに、学生のニーズの多様化が進  
む中、本学科は多様な分野を自由に学べる点  
を特色とし、より多くの高校生に魅力を伝  
えています。

今後とも皆様方の変な支え、ご指導  
のほどよろしくお願い申し上げます。

教育学部だより



副学長・教育学部長  
柳川美磨

教育学部の展望と

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

育英大学は皆さまのご支援のおかげで開学8年目を迎えることができました。本年度のスポーツ分野では、昨年に続き大きな成果が生まれました。レスリングでは、パリオリンピックに続き世界選手権でも本学助手の元木咲良が優勝し、U17・U20・U23・シニア・オリンピックの五冠を達成、世界で3人目となるゴールデングラントスラムという歴史的快挙を成し遂げました。さらに、スポーツ教育専攻4年の五味虹登が男子U23で日本人初となる世界王者となり、新たなページを刻んでくれました。また、陸上競技では第94回日本学生陸上競技対校選手権大会において、スポーツ教育専攻1年の山鹿快琉が800m優勝という輝かしい成果を収め、サッカー部も北関東2部リーグから1部リーグへ昇格するなど、大変勢いのある一年

となりました。

本学では学生募集も堅調に推移し、文部科学省から本学教育学部の定員増が正式に認められました。スポーツ教育専攻は100名から130名に増員し、児童教育専攻50名に加え、中学校・高等学校の英語免許が取得できる英語教育専攻(20名)を新設することができました。これにより、教育学部全体の定員は150名から200名へと拡大し、3年間で定員を100%増加させた全国でも唯一の大学として、新たな成長段階を迎えることとなりました。また、英語教育専攻の開設に伴い、従来の教員養成に加えて英語科教員の育成が可能となり、本学の教員養成体制はより幅広く、質の高いものへと発展しております。

こうした成果は本学の教育・研究・スポーツの取り組みが広く評価されている証であり、開学から8年という短い期間でありながら、「教育の育英大学」としての存在感が一層高まっていることを実感しております。今後も高等学校や短期大学との連携を強化し、地域および学園全体の発展に寄与できる大学づくりを進めてまいります。

最後に、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



児童教育専攻長  
吉井健人

子どもの未来を支える専門性を育む

新年を迎え、皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

児童教育専攻では今年度、教育への高い志を抱いた60名の1年生を迎えました。子ども一人一人の育ちに丁寧に関わり添い、



スポーツ教育専攻長  
滝沢和彦

スポーツ教育専攻

この1年

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の開学当初50名定員でスタートしたスポーツ教育専攻ですが、近年定員を大きく上回る受験生を迎えることができ、令和6年度からは入学定員を1

社会の未来を支える担い手として成長していくことを期待しています。本専攻では、幼稚園教諭・保育士・小学校教諭の免許・資格取得を見据え、1年次から学校体験活動を取り入れた学修を行っています。早期から教育・保育の現場に触れることで、講義で学んだ理論や知識と実体験とを往還させながら理解を深め、学びの意義を実感できる教育を推進しています。

こうした学修の積み重ねは、学生一人一人が自らの適性や将来像を具体的に捉

え、主体的に進路を考える基盤となっております。その成果として、本年度の教員採用試験では10名が合格を果たしました。

また4年生では、小学校教員に加え、公立幼稚園・保育園に3名が合格するなど、希望する進路の実現が着実に進んでいます。今後も本専攻は、教育・保育を通して社会に貢献できる人材の育成に取り組みまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

00名へと倍増しました。その後も、定員増を上回る受験生に恵まれたことで、さらに多くの学生を迎え入れ、大学全体の活力・教育力の一層の向上・充実を図るべく、令和8年度から本専攻の定員を100名から130名へと増員することといたしました。多くの受験生を迎えることができた背景として、やはり強化指定部の活躍を挙げたいと思います。一昨年のパリオリンピック、女子レスリングでの二つの金メダルの記憶も新しいところですが、昨年

新たな金メダリストが誕生しています。男子サッカー部や陸上部、女子バレーボール部等の強化指定クラブも各種大会やリーグ戦で活躍しています。また、就職面では、教員採用選考で今年は初めて高等学校保健体育で合格者が出たほか、教職以外でも公務員や民間への充実した就職指導で昨年度3月も就職率100%を達成できたことも改めて強調しておきたいと思っております。関係各位のますますのご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度後期・令和7年度前期の成績優秀者奨学金の授与

令和6年度後期の成績優秀者及び令和7年度前期の成績優秀者に奨学金を授与いたしました。奨学金は、半期授業料の半額相当です。成績優秀奨学生は、以下のとおりです。

令和6年度 後期 成績優秀奨学生

- 教育学部教育学科 児童教育専攻
1年 三澤 陽依
2年 西山 なずな
3年 西東 英奈
スポーツ教育専攻
1年 西村 昂琉
2年 宮島 誠弥
3年 齋藤 望夢
短期大学 保育学科
1年 長岡 由利子
1年 佐藤 絵摩
1年 金田 美羽
現代コミュニケーション学科
1年 清水 あかね

令和7年度 前期 成績優秀奨学生

- 教育学部教育学科 児童教育専攻
1年 宮一 岳志
2年 三澤 陽依
3年 米山 水葵
4年 南雲 彩花
スポーツ教育専攻
1年 竹之内 一宝
2年 品山 旺輝
3年 宮島 誠弥
4年 西村 昂琉
5年 齋藤 望夢
6年 鍋島 花梨
7年 高橋 佳吾
短期大学 保育学科
1年 篠崎 優菜
2年 伊藤 朱音
3年 新島 泉帆
4年 後藤 愛奈
5年 佐藤 絵摩
6年 金田 美羽
現代コミュニケーション学科
1年 北原 優美
2年 井家 さくら

クラブ活動の主な成績

大学の学生が本年度に活躍した主な成績は次のとおりです。

陸上競技部

- 第102回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会(10/18) 総合31位
日本学生陸上競技個人選手権大会(4/25~27) 男子棒高跳:優勝
篠塚 浩斗(大学:スポーツ教育:4年)
関東学生陸上競技対校選手権大会(5/8~11) 100m:6位
宮下 青空海(大学:スポーツ教育:3年) 110mH:5位
山口 空太(大学:スポーツ教育:1年)

- 山鹿 快琉(大学:スポーツ教育:1年) 800m:優勝
土屋 櫻井・遠藤 山鹿 4x400mR:3位
篠塚 浩斗(大学:スポーツ教育:4年) 男子棒高跳:優勝 大会新・MVP
鈴木 悠聖(大学:スポーツ教育:1年) 男子棒高跳:2位
高橋 路(大学:スポーツ教育:1年) 男子棒高跳:3位
日本学生陸上競技対校選手権大会(6/5~8) 800m:優勝 大会新
山鹿 快琉(大学:スポーツ教育:1年) 男子棒高跳:2位
篠塚 浩斗(大学:スポーツ教育:4年) 男子棒高跳:7位
鈴木 悠聖(大学:スポーツ教育:1年)
日本陸上競技選手権大会(7/4~6) 800m:7位
山鹿 快琉(大学:スポーツ教育:1年) 男子棒高跳:9位
篠塚 浩斗(大学:スポーツ教育:4年)
関東陸上競技選手権大会(8/22~24) 男子棒高跳:優勝
篠塚 浩斗(大学:スポーツ教育:4年) 男子棒高跳:2位
鈴木 悠聖(大学:スポーツ教育:1年)
U20日本陸上競技選手権大会(9/27~28) 男子棒高跳:優勝
鈴木 悠聖(大学:スポーツ教育:1年)
U20東アジア陸上競技選手権大会(9/27~28) 800m:2位
山鹿 快琉(大学:スポーツ教育:1年) 大会新
国民スポーツ大会(10/3~7) 800m:2位 大会新
山鹿 快琉(大学:スポーツ教育:1年)
レスリング部
明治杯全日本選抜レスリング選手権大会(6/19~22)
5味 虹登(大学:スポーツ教育:4年) 60kg級/G:3位
中村 真翔(大学:スポーツ教育:2年) 63kg級/G:優勝
三浦 修矢(大学:スポーツ教育:1年) 70kg級/F:優勝
佐々木 優太(大学:スポーツ教育:4年) 97kg級/F:3位
小川 凜花(大学:スポーツ教育:1年) 50kg級/W:3位
清岡 もえ(大学:スポーツ教育:4年) 53kg級/W:2位
新井 一花(大学:スポーツ教育:3年) 57kg級/W:3位
池畑 菜々(大学:スポーツ教育:3年) 65kg級/W:2位
U20世界選手権大会(8/18~24)
小川 凜花(大学:スポーツ教育:1年) 50kg級/W:優勝
升田 夏実(大学:スポーツ教育:1年) 53kg級/W:優勝
竹元 紫凜(大学:スポーツ教育:1年) 62kg級/W:3位
世界選手権大会(9/18~21)
中村 真翔(大学:スポーツ教育:2年) 63kg級/G:10位
国民スポーツ大会(9/29~10/2)
五味 虹登(大学:スポーツ教育:4年) 60kg級/G:優勝
全日本大学グレコローマン選手権(10/18~19)
白川 剣斗(大学:スポーツ教育:3年) 55kg級/G:3位
長谷川 虎次郎(大学:スポーツ教育:3年) 67kg級/G:優勝
鈴木 飛来(大学:スポーツ教育:2年) 72kg級/G:優勝

- 本名 一晟(大学:スポーツ教育:4年) 77kg級/G:優勝
バドミントン ナンバルダグワ(大学:スポーツ教育:3年) 130kg級/F:2位
U23レスリング世界選手権大会(10/24~27) 60kg級/G:優勝
五味 虹登(大学:スポーツ教育:4年)
内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会(11/8~9) 125kg級/F:優勝
バドミントン ナンバルダグワ(大学:スポーツ教育:3年)
全日本レスリング選手権(12/18~21)
小川 凜花(大学:スポーツ教育:1年) 50kg級/W:3位
清岡 もえ(大学:スポーツ教育:4年) 53kg級/W:優勝
原田 渚(大学:スポーツ教育:3年) 55kg級/W:2位
池畑 菜々(大学:スポーツ教育:3年) 65kg級/W:優勝
藤倉 優花(大学:児童教育:4年) 72kg級/W:3位
五味 虹登(大学:スポーツ教育:4年) 60kg級/G:優勝
南 登陽(大学:スポーツ教育:4年) 63kg級/G:3位
本名 一晟(大学:スポーツ教育:4年) 77kg級/G:3位
本名 帝心(大学:スポーツ教育:4年) 70kg級/F:3位
女子バレーボール部(大学:短大)
春季関東大学バレーボールリーグ戦「女子3部」(4/13~5/18) 4位
群馬県6人制バレーボール総合男女優勝大会「女子」(8/31) 優勝
秋季関東大学バレーボールリーグ戦「女子3部」(9/13~10/26) 3位
男子サッカー部
群馬県大学サッカーリーグ戦(2/15~3/1) 2位
関東大学サッカーリーグNorth 2部(4/5~10/19) 3位
北関東大学サッカー選手権大会(4/27~5/5) ベスト8
その他の部
群馬県私立大学スポーツ大会(10/4~5) 優勝
テニス:女子(テニスサークル)
ソフトボール:女子(ソフトボール 軟式野球部)
フットサル:男子(フットサルサークル)
フットサル:女子(女子サッカー部)
バドミントン:男子(バドミントンサークル)
バドミントン:女子(バドミントンサークル)
出前公演(大学:短大)
和太鼓部、ハワイアン部、ダンス部、ハニーキッズは、地域の各種団体からの依頼により、出前公演を行っており大変喜ばれております。

### 公開講座

本学では、地域連携推進事業の一環として公開講座を実施しており、地域の皆様の生涯学習の一助となればと考えております。

#### 第1回 7月26日(土) 10時～15時

■ 演題 / 夏休みの宿題—ポスター・絵画を仕上げよう—  
■ 講師 / 渡辺 一洋(教育学部児童教育専攻 教授)  
■ 対象者 / 小学校1～6年生

#### 第2回 8月24日(土) 10時30分～12時

■ 演題 / 親子でコンサート♪—きいて、うたって、かなで—  
■ 講師 / 林智草(教育学部児童教育専攻 准教授)  
■ 対象者 / 年長～小学校2年生

#### 第3回 9月27日(土) 10時～12時

■ 演題 / めざせ！ボールなげめいじん！—あそびながらなげる力をみがこう—  
■ 講師 / 吉井 健人(教育学部児童教育専攻 教授)  
■ 対象者 / 小学校低学年(1・2年生)

#### 第4回 10月25日(土) 13時～15時

■ 演題 / はっぱスタンプであそぼう！—親子で楽しむ自然版画体験—  
■ 講師 / 井上 昌樹(保育学科 講師)  
■ 対象者 / 3歳～小学生、保護者

#### 第5回 10月26日(日) 13時～15時

■ 演題 / プログラミング講座—ぶよぶよプログラミング—  
■ 講師 / 大島 宗哲(現代コミュニケーション学科 准教授)  
■ 対象者 / 小学校4年—

#### 特別イベント 10月25日(土) 9時～12時

- 演題 / マルチスポーツフェスティバル
- 第1部 / かけっこ教室 9時30分～10時30分
- 第2部 / レスリング体験 10時30分～11時15分
- 第3部 / フットホッケー体験 11時15分～12時00分
- 講師 / 小林 哲郎(教育学部スポーツ教育専攻 講師)、松本 隆太郎(教育学部スポーツ教育専攻 准教授)、日高 裕介(教育学部スポーツ教育専攻 講師)

### 市内私立大学・短期大学連携事例発表会

本学では、高崎市が主催する『市内私立大学・短期大学連携事例発表会』(産学官連携・地域貢献活動による地域振興を目指して)に参加しています。

この発表会には、高崎市内の6校の私立大学・短期大学が参加し、地域が抱える身近な課題に、大学と企業等が共同で取り組む産学連携を促進させるもので、学生が地域貢献活動や新たなビジネスアイデアの展開を研究し、例年2月に発表しています。

令和7年2月は、高崎商科大学が会場として行われ、本学から次の4プログラムが参加しました。

#### ① 学生主体の子育て支援活動に関する事例研究

■ 発表者 / 保育学科2年・関口七海、花田彩奈、田島妃子  
■ 指導教員 / 保育学科：大屋陽祐准教授

#### ② 高齢者とのeスポーツコミュニケーション

■ 発表者 / 現代コミュニケーション学科1年・高野 莉子、野田愛裡、平澤真奈  
■ 指導教員 / 現代コミュニケーション学科：大島宗哲 准教授

#### ③ ぐんまと自然と私—子どもたちの「遊×食×音」を広めよう—

■ 発表者 / 教育学部児童教育専攻4年・須藤ゆい、三瓶梨奈、長嶋友実、都丸楓彩、坪井力、教育学部スポーツ教育専攻4年・齋藤堅

#### ④ 小学校及び中学校の体育行事へのボランティア活動の成果と課題

■ 発表者 / 教育学部スポーツ教育専攻1年・前田祐、三井田奈那  
■ 指導教員 / 教育学部教育学科スポーツ教育専攻：藤井一貴 講師

### 図書館だより

大学図書館では、日々の学習・研究支援だけでなく、様々な企画やイベントも継続して行っております。

今年で5回目となる募集企画「手づくり絵本コンクール Beyond the Borders」(募集期間：2025年7月1日(火)～10月17日(金))は、昨年に引き続き、学外からの応募数が過去最多となり、高校生や社会人の方からも多数の力作が集まり、絵本の部61点、原作の部13点が寄せられました。

審査は、佐塚公代先生(児童文化)、木月禎子先生(豆本作家)のほか、絵本や美術を専門とする先生方が行い、絵本10作品、原作3作品の入賞作品を選出しました。

また、昨年に引き続き、ビブリオバトルも定期開催し、学生だけでなく、教職員も積極的に参加し、読書を通じたコミュニケーションを楽しんでいます。

11月2日(土)に群馬県立図書館で開催された、全国大学ビブリオバトル関東Dブロック予選には、大学・児童教育専攻1年生の黛隼之介さんが出場し、素晴らしいプレゼンを披露しました。

新しい活動としては、今年度から、好きな本を紹介し合う形式の「読書会」も定期開催しています。読んだ本について語り合うことで、楽しみながら、読書体験を深めることができます。

大学図書館の催しが、学生の皆さんの自己表現や交流の場となり、学生生活の充実に役立つ

今年で5回目となる募集企画「手づくり絵本コンクール Beyond the Borders」(募集期間：2025年7月1日(火)～10月17日(金))は、昨年に引き続き、学外からの応募数が過去最多となり、高校生や社会人の方からも多数の力作が集まり、絵本の部61点、原作の部13点が寄せられました。



絵本コンクール上位入賞作品

### 令和7年度 手づくり絵本コンクール Beyond the Borders 上位入賞者

- 《絵本の部》
  - 最優秀賞
    - 『ハンダがらすのなみだ』 木野田 博彦(埼玉県さいたま市)
  - 審査員特別賞
    - 『モエちゃんのおちこがり』 安藤 邦緒(岐阜県本巣郡北方町)
  - 優秀賞
    - 『かぜとミル』 榊原 明(短大・保育学科2年)
    - 『おこのみやきさつくるでー!』 興村 絢子(千葉県習志野市)
    - 『ほしのいのり』 加藤 愛純(伊勢崎県陽陽高校3年)
  - 《原作の部》
    - 最優秀賞
      - 『もしものお話』 可世木 湖心(鳥取県立倉吉総合産業高校3年)



ビブリオバトル予選(黛隼之介さん)



ビブリオバトル開催風景



選書ツアー



読書会の様子

ていたただけたら嬉しいです。また今年も、学生が書店で図書館に置きたい本を選ぶ「選書ツアー」や、先生方によるWeb選書を実施し、魅力ある蔵書の構築も進めております。大学図書館の活動の様子は、インスタグラムとX(@ikeuilibran)で発信しておりますので、ぜひご覧ください。

# 桔梗祭2025

大学祭実行委員長(大学)

小田 士雄

大学祭実行委員長(短大)

大塚 梨瑚

今年度も育英大学・育英短期大学合同で、10月25日(土)と26日(日)に第55回桔梗祭を開催しました。今年度のテーマは「君と



ときめき準備中〜 Let's make Sparkle together」とし、大学祭実行委員会を中心に、学生全体が桔梗祭を盛り上げることができました。このテーマには、桔梗祭に関わる全員が輝ける場作りを目指し、会場にお越しになった皆様に、ときめきと、星のきらめきのような感動や希望を届けたいという願いが込められています。

今年度の桔梗祭では、学生が主体の「歌うま甲子園」ゲーム最強決定戦に加え、新企画として、一般参加も可能な「勝敗予想ゲーム」を開催しました。その他にも、部活動やサークルの発表、模擬店、催し物、展示などの様々な企画で、ご来場の皆様に楽しんでいただきました。

演奏や、ハニーキッズの可愛らしいダンスなどが会場を盛り上げました。また、JCCサークルの発表では、外部講師がモンゴルの伝統的な楽器を用いた演奏で、会場全体を幻想的な雰囲気包み込みました。模擬店では、肉巻きおにぎりや焼き鳥、唐揚げのほか、学食の出店もあり、沢山のメニューが並びました。どれもよく考えら



催し物ではブラックライトを使った企画やブレスレット作り、手芸体験など、年齢関係なく楽しめる企画が用意され、お子様連れのお客様からの笑顔が沢山見受けられました。また、例年開催しているお笑いライブでは「GO!皆川」さん、「やさしいズ」さ

今年度も多くの方にご助力いただき、桔梗祭を無事に終えることができました。雨の中での開催となりましたが、笑顔の耐え来年度も笑顔と感動の桔梗祭になることを心より願っております。

れっていて、ご来場のお客様からの笑顔を見ることができました。

ん、「ラニーノーズ」さんの3組が出演してくださり、会場を大いに盛り上げてくれました。



### 飛翔会だより

【定期総会・臨時総会(書面)】



令和7年度の定期総会は、5月17日(土)午後2時から本学の114教室で開催されました。

総会では、令和6年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和7年度新役員の選出、令和7年度事業計画案、予算案を審議いただき、原案どおり承認され、実習・就職活動、学生会活動、クラブ活動、学園祭、図書購入、コロナ対策、教育環境整備等に支援することとなりました。

その後、総会をもって任期満了により退任される各副会長(支部長)、監査の計3名に学長より感謝状と記念品が贈呈されました。

### 【支部会】

第1回合同支部会が、9月20日(土)にラシーネ新前橋で開催されました。両支部

会では、定期総会報告・学事日程、クラブ活動・出前公演の状況、短大各学科・大学各専攻の取組、進路などについて説明が行われ、参加した保護者からは様々な質問があり、大学との意見交換が活発に行われました。

第2回合同支部会は、本部署員会において書面で行うことになりました。

### 【青空市場】

10月25日(土)の桔梗祭1日目に、恒例となっている「青空市場」を出店しました。

「青空市場」では、新鮮野菜や果物、お菓子すく、飲料が格安で販売され、盛況のうちに終了しました。実行委員の方々の協力により、桔梗祭を盛り上げることができました。また、「青空市場」の収益金102,622円は、学生の就職支援のため採用試験の問題集等を本学図書館に寄贈しました。皆様の協力に感謝申し上げます。



### 後援会だより

令和7年度定期総会

令和7年度定期総会が6月16日(月)午後6時からホテルラシーネ新前橋において開催されました。

総会では、令和6年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和7年度新役員の選出、令和7年度事業計画案、予算案を審議いただき、原案どおり承認され、強化指定クラブや地域活動クラブ、学園祭、教育環境整備等に支援することとなりました。

また、事業費については、大学の強化指定クラブ(陸上部、レスリング部、男子サッカー部、女子バレーボール部)、地域活動で活躍している和太鼓部、国際大会への支援に対して支援を厚くするとともに、これからの後援会としてできる限りの支援をしていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



### 桔梗会だより

令和7年度定期総会

令和7年度の桔梗会総会は、5月に本学会議室にて開催されました。総会では会長・役員選任について審議され、根岸新会長をはじめ書記



に3名、幹事12名が承認されました。新しいメンバーを加え桔梗会を盛り上げるべく今年度の活動内容について審議され、新規事業として学部・学科に対してのイベント補助を行っていくこととなりました。これまでの桔梗祭(大学祭への30万円補助、卒業生への同窓会活動補助(同窓会開催補助)、教育環境整備支援補助20万円の学園への寄付、桔梗祭(大学祭)キャンパス・カミングデイ補助、レスリング世界選手権出場・メダル獲得者等への祝金・激励金贈呈も継続して行っています。10月に行われた桔梗祭へは今年

度も同窓会ブースを設け、多くの同窓生親子や一般来客との交流を行うこともできました。今後も育英大学・育英短期大学卒業生への記念品贈呈補助、卒業生への支援など、在校生・卒業生への支援を深めると共に育英大学・育英短期大学発展のため尽力していきたいと思っております。今後とも皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



## 2025年レスリング世界選手権大会の出場者を応援

大学を支援する三団体(飛翔会、後援会、桔梗会)では、9月にクアアチアで開催された世界選手権とU23レスリング世界選手権に出場した選手に激励金を、すばらしい成績を修めた選手に御祝金を贈呈しました。

また、元木咲良選手(大学助手)がU23レスリング世界選手権で優勝し、世界で3人目となるゴールドメダルを達成しました。

※ゴールドメダル：4世代の世界選手権(U17、U20、U23、シニア)とオリンピックの5大会全てで優勝することです。

■レスリング世界選手権大会(9/13～21)  
大学助手 元木 咲良(62kg級 優勝)

■U23レスリング世界選手権大会(10/20～26)  
4年 五味 虹登(G60kg級 優勝)  
大学助手 元木 咲良(62kg級 優勝)



# 育英高校だより

生徒数  
普通科 1,350人

## 多様なニーズに応える学校へ



前橋育英高等学校

校長 一渡 諭司

皆様には、日頃から本校の教育活動に温かいご支援と様々なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、男女サッカー部の全国選手権大会出場に係る支援・募金に際しましては、多くの皆様にご協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。今回は、男子がJリーグの試合も開催される大宮の会場で兵庫県代表の神戸弘陵学園高校と、女子が「2002 FIFAワールドカップ」でイングランドチームのキャンプ地として注目を集めた淡路島の会場で高知県代表の高知高校と初戦で対戦しました。結果はどちらも惜敗となりましたが、ひたむきに最後まで諦めずに全力を出し切る姿勢で戦う姿に、胸を熱くするとともに勇気づけられました。今後も更なる高みを目指して努力を積み重ねていってくださるものと確信しています。

さて、全国的に生徒の急減期を迎えている今、私たちは生徒の多様なニーズに応えるために新たな取組を始めていま

### 副校長挨拶



副校長  
中西 信之

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、昨年は新しい試みとしてロサンゼルス研修が実施され、参加した生徒達は貴重な経験を積むことができました。校内においてもDXハイスクール事業の一環として、実習室である「マイエイクラボ」が完成し、生徒達が最先端の情報機器に触れることができる環境を整えることができました。

令和八年は午年となります。エネルギーに満ちて力強く発展すると言われる年です。前橋育英は現在、次のステージに駆け昇るために着々と準備を始めています。副校長として、時代を見据えた活気あふれる教育環境を創造していくためには、職員一人ひとりがより高みを目指そうとする意識改革が必要であると考えています。

スポーツ強豪校として全国的な知名度を誇る本校ですが、ここで学ぶ全ての生徒達が充実した高校生活を送れるよう、多様な教育活動を推進しようと考えています。生徒達が逞しくしなやかに成長できる一年を創つていこうと考えていますので、本年もご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

### 教頭挨拶



教頭  
上原 敏広

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本年も変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。さて、本校は、ご存じの通り県内トップクラスのマンモス校です。普通科5コース制で、特進選抜、特進、総合進学の、スポーツ科学、保育のいずれかに所属する1350名の生徒が机を並べ将来の飛躍のためにそれぞれ思い思いの翼に風を蓄えております。

みな座学や実習、探究活動、そして部活動等に勤しむことで、知見を深め理解表現伝達力を高める日々を送っております。

また、昨年から新たに海外研修とDXハイスクールという2つの大きな翼が加わりました。前橋育英生の学習の場がアメリカにまで広がることにも最先端の情報技術にふれ、未来を創造していける力を養う場(Maejiku Creation Lab)ができました。

「習」という文字は雛が飛び立つために白い羽を何度も羽ばたかせることに由来すると聞いたことがあります。そしていつか本当に巣から飛び立てる瞬間が来るのです。本年も保護者の皆様と連携して生徒一人ひとりの翼の成長に寄り添っていきたくと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

### 事務長挨拶



事務長  
平澤 精人

昨年の年頭は、男子サッカー部の全国選手権大会優勝に始まり、その間の入試、全国的な祝賀ムードが高まる中、様々な凱旋行事を担当させていただきました。

本稿を書く中で、地域の皆様への声援と全国的な反響の高さに立場を忘れ、興奮していた記憶が鮮明に蘇ってきたところです。

今年度は選手権出場を果たし、チーム全体で優勝旗を無事に返還することが私の中の目標でもありましたが、選手達は見事に叶えてくれました。

お陰様で、多くの方との出会いの機会に恵まれ、多数の助言を賜り、事務長としての約2年を走り続けることが出来ていると感謝しております。

これからの前橋育英高校の輝く発展のために、日々謙虚に、感謝を忘れず、変化を恐れず、10年、20年先を見据えながら、様々な改革・改善を進める所存です。

皆様からの変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、この良き日にお願ひ申し上げます。

男子サッカー部 第104回全国高校サッカー選手権大会出場 「私にとって最後の大会」

監督 山田 耕介

前橋育英に赴任して、44年随分と長くいたもんだと思います。大学卒業して見知らぬ群馬県にきて何もわかななくて、大丈夫かなと不安が一杯でした。夢と希望にあふれて日々頑張ってきました。

実践の中で挑戦と失敗の繰り返し自分で考えて、(練習も戦術も)自分で考えて取り組む力が、養われ全てに生きてきた。ただ監督としての強さ、孤独さは?監督と生徒は違う。監督は、みんなから好かれるのではなくチームを勝たせることも重要、生徒と教師は違うけど。チームの一体感を作ろうとすると失敗する。一体感が目的になるからダメだと思ふ。優勝という目的の為に向かってお互いを認め合う中で、勝っていくとチームは一体感ある物凄いチームになる今年のチームは、凄いチームでした一人一人の能力は、抜群でその力をチームとして引き出せなかった監督の力不足でした。本当に申し訳なく思っている。ただサッカー人生は始まったばかり、これからがもっと重



要です。この経験を絶対に無駄にすることなく頑張ってください。そしてこの3年間一緒に過ごした仲間、支えてくれた家族、応援してくれた皆さんの人のおかげだということをお忘れなくください。最後に今大会にあたり多大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。全ての関係者に深く感謝申し上げます。



女子サッカー部 第34回全日本高校女子サッカー選手権大会出場

監督 奈良 将弘

日頃より女子サッカー部にご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場にあたり、皆様から多大なる応援をいただきましたことを、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

初戦は高知中学高等学校(高知県)と対戦しました。試合開始直後から守勢に回り、前半11分にコーナーキックから失点しました。失点後は猛攻を仕掛けて主導権を握る展開にしたものの、チーム全員で必

死にゴールを守る相手の堅守に苦戦し、後半7分ようやく同点ゴールを決めることができました。その後相手ゴールに何度も迫りましたが、なかなかゴールを割ることができずに同点のままPK戦となり、1回戦で敗退しました。試合内容と結果が必ずしも一致しないサッカーの過酷さを痛感した大会となりました。

シーズン当初から立て続けに失点をして負ける試合が多く、結果を残すことができない苦しい1年でした。しかし、今大会では失点を最小限に抑えて追いつくという春先にはなかった粘り強さと逞しさを体現しました。また、磨き続けてきたパスワークも随所で発揮し、前橋育英らしいサッカーを多くの方々に見ただくことができました。

最後になりましたが、大会出場にあたり多大なるご支援を賜りました関係各位の皆様、改めて深く感謝申し上げます。今後とも女子サッカー部への変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

弓道部 第44回全国高等学校弓道選抜大会出場

弓道部顧問 真下 智紀

10月19日に行われた群馬県新人大会において、男子団体優勝、男子個人2位となり12月23日から25日に静岡県で行われた第44回全国高等学校弓道選抜大会に出場することができました。本校としては28

年ぶり2回目の男子団体での本戦出場になりました。本戦での結果は、予選を通過しトーナメント1回戦で岡山県の興陽高校に惜敗しました。1か月前に行われた関東高校弓道選抜大会で育英初となる男子団体入賞を果たし、その勢いで全国選抜大会に挑めたことも予選を通過できた原動力となったと感じています。選手がこれまで成長できたのは、ご家族の全面的な協力をはじめ、本校弓道部スタッフの金子先生・齋藤先生、弓道専門部の先生方、多くの仲間や後輩など選手たちが携わっていたすべての方のおかげだと思います。ありがとうございます。



ダンス部 JCD A全日本チアダンス選手権決勝大会

ダンス部顧問 古山 智之

12月1日(月)、翌日から期末試験が始まる厳しい日程の中、東京体育館にてJCD A全日本チアダンス選

手権の決勝大会が実施されました。我々ダンス部2(ゼスト)は10月下旬の関東予選を通過した後、予選時の演技に改良を重ね、演技の成熟度を高めて決勝大会に挑みました。頭の頂上からつま先まで、身体のあらゆる部位に神経を張り巡らせることを目指して日々鍛錬をしてきました。また、サッカー応援をはじめとする様々な学校行事や(大変有難い話なのですが)多くのイベント出演依頼に対応し、まさにスキマ時間をかき集めて練習時間を確保してきました。

決勝大会の結果は残念ながら入賞ならず。様々な課題が浮き彫りになり、我々は何をなすべきか今後の方向性ははっきり見えてきました。これまで陰に陽にご支援いただいた方々に感謝申し上げます。今後とも変わらぬ皆様から「愛されるチーム」を目指して精進してまいります。

最後に、これまで死に物狂いで努力を重ねてきたダンス部員に対し、皆様からねぎらいの言葉をかけていただければ、望外の幸せです。今後ともダンス部の活動を温かく見守っていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。





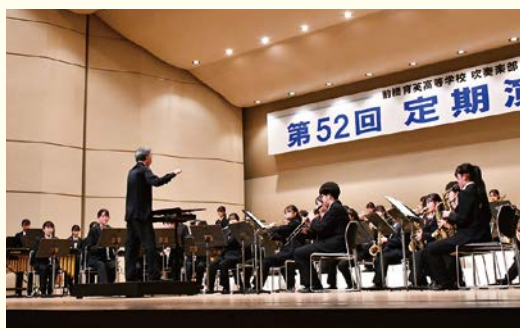
吹奏楽部

第52回 定期演奏会を終えて

吹奏楽部元部長 田島海雪

今年度の定期演奏会は、昌賢学園まえばし大ホールにて満席のお客様をお迎えし、開催することができました。今年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲から始まり、オリジナル演出やパフォーマンス、ダンス部の皆さんの出演もあり、拍手が自然と起こり、会場全体が一体となって盛り上がりました。

この定期演奏会をもって私たち第61期生(3年生)19名は引退となりました。2年半の活動を通して、努力を続けることの大切さや、仲間と支え合いながら一つの音楽を作り上げる喜びを学びました。顧問の先生方をはじめ音楽監督の山本先生、家族、仲間、そして応援してくれたすべての方々の感謝を胸に、最後まで私たちが



らしい音楽をお届けできたと思います。

最後になりますが、定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。これからも前橋育英高校吹奏楽部をよろしくお願いたします。



第二学年修学旅行 (I期) 報告

学年主任 柿沼晴吾

11月11日(火)より3泊4日の日程で、第二学年普通科特進・総合・保育コース290名の修学旅行が実施され、九州方面へ訪問をしてきました。初日の鹿児島で小雨はありましたが、それ以降は天候に恵まれ、全日程を予定通り実施できたことをまずは報告させていただきます。また実施に際しては、同意書の提出やアレルギ調査の inputs、生徒の送迎など、保護者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

1~10組は鹿児島にある知覧特攻平和会館にて、平和講和の受講がありました。戦争体験者の母親を持つ職員の講話では、家族や恋人など大切な人を置いて国のために飛び立つていった特攻隊員の話に涙する生徒も見受けられ、戦争の悲惨さや平和の大切さを、改めて感じる機会となりました。長崎では平和公園での散策も行い、地域の歴史や、祈念像があの姿勢をとっている理由など、ガイドさんによる説明も聞いてきました。



熊本では地震の被害から復興を遂げつつある熊本城の見学、長崎ではハウステンボス内での自由散策と友達と一緒に経験してきました。クラスによっては動物園や水族館の見学、柳川下り体験なども行程に取り入れ、バスごと乗るフェリーに

クラス別の行動も多かった修学旅行でしたが、最終日には全クラスで太宰府天満宮へ参拝してきました。3年生への進級も視野に入り始め、いよいよ本格化する受験に向けて、決意を新たにしたい生徒も多かったかと思えます。



感動したり、カモメに餌やりをしたりと、移動中でも楽しむことができました。生徒もいたようです。

その他湯呑みの絵付け体験をしたクラスもあり、保育コースはカステラ作りにも挑戦してきました。また長崎市内の班別行動では、グラーバー園や新地中華街、また江戸時代に海外へ開かれていた出島などを巡り、短い時間ではありましたが、長崎の歴史や文化に触れる時間となりました。

クラス別の行動も多かった修学旅行でしたが、最終日には全クラスで太宰府天満宮へ参拝してきました。3年生への進級も視野に入り始め、いよいよ本格化する受験に向けて、決意を新たにしたい生徒も多かったかと思えます。

2月10日(火)からは、同じく3泊4日の日程で、スポーツ科学コース130名を対象とした修学旅行が実施予定です。今回の旅行での経験を活かし、無事全行程が実施できるように、学年として準備をしていきたいと思います。